

京都市立芸術大学跡地における土壤汚染対策業務

受託候補者評価要領

1 目的

本要領は、技術提案に係る提出書類の評価基準及び評価点を定めるものである。

2 評価項目・基準

(1) 応募事業者について

ア 本社、本店、支社、支店、営業所等の所在地

下表のとおり評価する。

イ 応募事業者の履行実績

同種業務又は類似業務に係る履行実績について評価する。

【同種業務（以下において同じ）】

平成28年度以降に履行済みの、土壤汚染対策法施行規則別表第8 五 土壤汚染の除去
二 原位置での浄化による除去のうち、原位置で分解する方法により特定有害物質の除去
を行った業務

【類似業務（以下において同じ）】

平成28年度以降に履行済みの、土壤汚染対策法施行規則別表第8 五 土壤汚染の除去
二 原位置での浄化による除去のうち、抽出する方法またはその他の基準不適合土壤を掘
削せずに行う方法により特定有害物質の除去を行った業務

<計算方法>

評価項目	評価基準		
	A 満点	B 中間点	C 0点
ア 所在地	京都市内	京都市を除く関西圏（京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県又は和歌山県）	左記以外
イ 履行実績	同種業務の履行実績がある	類似業務の履行実績がある	同種又は類似業務の履行実績なし

(2) 管理技術者の業務実績等

ア 同種業務又は類似業務に係る履行実績について評価する。

イ 保有資格の有無

管理技術者が、土壤汚染対策法に基づく指定調査機関及び指定支援法人に関する省令（平成14年環境省令第23号）第5条第1項の規定による技術管理者証の交付を受けている場合、評価する。

<計算方法>

評価項目	評価基準		
	A 満点	B 中間点	C 0点
ア 業務実績	同種業務の 履行実績がある	類似業務の 履行実績がある	同種又は類似業務の 履行実績なし
イ 保有資格の有無	資格あり	—	資格なし

(3) 技術提案に係る評価（企画提案調書）

① 業務実施に当たっての基本的な考え方、取組方針、実施体制

これまでの経緯や業務目的を踏まえた取組方針や実施体制が提案されているか。

本業務は、本市が実施した土壌汚染調査結果及び本市が作成した法第7条に基づく京都市立芸術大学跡地に係る汚染除去等計画書（令和8年4月17日付け）及びその添付資料（以下「実施措置計画等」という。）に基づき、土壌汚染の除去等を行うものであり、実施措置計画等の十分な把握に加え、土木分野の知識や、土壌汚染対策法、土壌汚染対策法ガイドライン等の関係法令等に関する知識を要するほか、業務の進捗状況に応じて適時的確な取り組みを要する特性がある。

指定調査機関（※1）や担当技術者（土壌汚染分野担当）の関与の方法、程度のほか、経験年数や実績、保有資格（技術士（環境部門）その他）等が豊富な技術者が配置されているかなど、業務目的の達成に向け、より適切な実施体制が提案されているか。

なお、協力者（再委託先等）がある場合は、その名称、分野及び体制も併せて記載すること。

（※1）土壌汚染対策法第3条第1項に基づく指定調査機関

② 課題・留意事項の想定

業務の各段階において想定される課題や留意すべき事項が想定されているか。

実際の建築物や設備等の状況を踏まえた場合の課題や留意すべき事項が想定されているか。想定した課題に対する解決案や対応方針などが提案されているか。

③ 業務スケジュール案及び管理における工夫

計画書に記載のない事態が生じた場合は発注者及び関係機関（本市環境政策局等）との協議を要するなど、スケジュールの不確実性を含む本件業務において、委託仕様書に記載の所定の時期に、定められた成果を得られるよう、協議等の所要期間を考慮したスケジュールが提案されているか。また、業務に遅れが生じないような工夫がされているか。

④ 施工に関する工夫、課題への対応

周辺環境対策や、施工精度、品質確保、材料管理など、施工に関する工夫が提案されているか。施工中に課題が生じた場合の対応方針や解決案などが提案されているか。履行中の報告や情報共有の方法が、わかりやすい方法（デジタル技術の活用等）を想定されているか。

⑤ 資料作成、わかりやすい説明

上記①から④の提案において、業務フローや重点事項、考え方、方針など、提案の内容が的確でわかりやすい資料となっているか。

<計算方法>※①～⑤の各項目につき共通

評価基準				
A 満点	B 満点の3/4点	C 中間点	D 満点の1/4点	E 0点
きわめて良好	良好	妥当	やや不十分	不十分

(4) 価格点

本業務に係る見積金額について、以下の5段階で評価する。

※ 委託金額の上限額を超えるものは失格

<計算方法>

A (満点) : 最低価格以上、(最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 1/5) 未満

B (満点の4/5点) : (最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 1/5) 以上、(最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 2/5) 未満

C (満点の3/5点) : (最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 2/5) 以上、(最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 3/5) 未満

D (満点の2/5点) : (最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 3/5) 以上、(最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 4/5) 未満

E (満点の1/5点) : (最低価格 + (委託金額の上限額 - 最低価格) × 4/5) 以上、委託金額の上限額以下

(参考) 評価項目・基準表

評価項目		評価事項	配点
応募事業者		本社、本店、支社、支店、営業所等の所在地	4点
		業務実績	6点
管理技術者		業務実績	6点
		保有資格の有無	4点
小計			20点
技術提案	取組方針・実施体制等	経緯や業務目的を踏まえた取組方針や、より適切な実施体制となっているか	18点
	課題・留意事項の想定	業務の各段階で想定される課題や留意すべき事項の想定がされているか	12点
	業務スケジュール案・管理の工夫	履行期間内で成果を得るための実現可能なスケジュールの提案、遅滞なく業務を遂行するための工夫等がされているか	16点
	施工に関する工夫等	周辺環境や材料管理等の工夫がされているか	16点
	資料作成能力 わかりやすい説明	業務フローや各調査の業務手順などが、的確でわかりやすい資料となっているか	8点
小計			70点
価格点			10点
合計			100点